



誉田小だより

第11号

令和5年1月31日発行
たつの市立誉田小学校
たつの市誉田町広山580-1
Tel 0791-62-1529
Fax 0791-62-4670



動物愛護教室(1・2年生)

1・2年生を対象に動物愛護教室が開かれました。子供達は、犬の心臓の音を聞き、生きていることを実感したあと、ペットとして飼われている犬との接し方について学びました。コロナの間、動物が来られなかったのですが、実際に触れられ、愛着もいっそうわいていたようです。

資源回収(PTA)

1月15日(日)PTA資源回収がありました。グラウンドの状態が悪いなか、新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶と、地区ごとに回収してきていただいたものを、パッカー車に運び込んだり仕分けしたりしました。休日の早朝より熱心にご協力いただき、ありがとうございました。



2月の主な予定

- 1日(水) 児童朝会、一斉下校
- 2日(木) 龍野東中学校入学説明会(6年:東中にて)、移動図書館
- 6日(月) 代表委員会、子ども音楽会
- 8日(水) 一斉下校
- 10日(金) 音楽学習発表会、PTA臨時総会、学年懇談会、学級役員選出の会(1~5年)
- 11日(土・祝) 建国記念の日
- 12日(日) 揖龍駅伝大会
- 13日(月) 読書週間(~24日)
- 15日(水) 一斉下校
- 16日(木) ふれあい学級
- 20日(月) スマホ・ケータイ教室(4・5・6年)
- 21日(火) クラブ見学、学校評議員会
- 23日(木・祝) 天皇誕生日
- 25日(土) 誉隣保館まつり(~26日)、ノーゲーム・ノースマホデー
- 28日(火) 委員会活動

3月の主な予定

- 17日(金) 給食終了
- 23日(木) 卒業証書授与式
- 24日(金) 修了式
- 25日(土) 春季休業日(~4/5)

<表彰おめでとう>

- 第1回 兵庫書友会作品展
市位尚文堂賞 2年
- 第32回兵庫県スポーツ少年団総合大会(柔道競技)
小学校3年生男子の部
準優勝 3年
- 西播磨「ふるさとの風景絵画コンクール」
佳作 2年
5年
- 第17回たつの市スポーツ少年団総合競技大会
柔道競技 小2-2部 準優勝
小3-1部 準優勝
団体戦 準優勝
(龍野若竹会)



音楽学習発表会におこしくください

一月もはや終わりを迎え、いよいよ二月がはじまります。二月には大きな行事として「音楽学習発表会」が予定されています。

二学期のうちに曲と担当楽器を決めた学年も多く、分擔し少しずつ練習を進めてきました。

校舎内を巡回していますと、音楽室や各教室から練習の音が聞こえていました。そして、一月二十三日には、五・六年生が、慎重に体育館に楽器を移動し、ステージを整えてくれて、いよいよ本格的な練習が始まりました。日を追うごとに、曲のまとまりや表現力がどんどん高まってきています。練習している子供達も、素敵なメロディやエンディングなど、趣向を凝らして行う予定です。

本番の日は、左記のとおりです。各家庭お二人とさせいただきますし訳ありませんが、誉田っ子の頑張りをぜひ見に来ていただければと思います。(※引き続きPTA臨時総会・学級懇談会・学級役員選出の会があります。)

とき 二月十日(金)
開演 十三時十五分
開場 十三時三十分
誉田小学校体育館にて



地震対応の避難訓練(全校生)

阪神淡路大震災から28年目の1月17日に、地震対応の避難訓練を実施しました。子供達は、当時の被害の様子や大変さを、映像や話で振り返るなかで、地震にどうやって備えればよいかを考えました。災害の教訓を忘れず、自分たちの命に生かし、次の世代に伝えたいですね。

ミニプラネタリウム作り(6年生)

STEAM教育事業として、龍野高校の生徒達が本校を訪れ、プラネタリウム作りを教えてくださいました。豆電球の光が星座の並びに空いた透明な所からもれるようにして制作し、最後は暗幕の部屋で点灯してみました。天井や壁に映し出される星座は、とてもきれいで素敵でした。



冬の歌「たき火」のたどった運命

誉田の森のサザンカ(山茶花)が、たくさんの花を美しく咲かせて、子供達を出迎えています。

サザンカが出てくる歌に「たき火」がありますが、この歌には少し奇な運命があります。

「たき火」は作詞者の異聖歌が、自宅近くの風景を思い出して作った詩に、渡辺茂が曲を付けたものです。実はこの歌はNHKが「幼児の時間」の十二月分の放送(計三回)のため、依頼して作られ発表されたのですが、九日・十日と二回放送された後、十二月八日に太平洋戦争が起きた影響で、「たき火」が敵の飛行機から攻撃の的になった。また、「落ち葉は風呂をたく貴重なものだからもったいない」と、軍当局からクレームが入り、三回目の放送が無くなり戦時番組に切り替えられたそうです。

その後、「たき火」は一九四九年に再び「うたのおばさん」で放送され、全国の学校園で広まり、一年生の音楽の教科書に掲載されることとなりますが、今度は消防庁から「街角でのたき火は危険である」とのクレームが入り、教科書に載る際の挿絵には、たき火の子供達とともに、火消し用のバケツが描かれるようになったというエピソードがあります。

今ではすっかり見なくなった「たき火」とともに、歌そのものも、現代の子供達にはイメージしにくくなっていくようですが、繰り返される印象的な歌詞と、温かなイメージがふくらむ曲は、いつまでも残って欲しい名曲であると思います。(参照ウィキペディア)

